

平成30年2月16日

報道機関 各位

国立大学法人富山大学芸術文化学部
学部長 武山良三

「平成30年度文化財修復に関する講演」の開催について

国立大学法人富山大学芸術文化学部では、「平成30年度文化財修復に関する講演」を下記のとおり開催します。本講演では、漆芸の文化財修復の第一人者、松本達也氏を講師に迎え、「文化財修復の概念と修復事例」と題しご講演頂きます。さらに、「麦漆接着と圧着法」として、実際に修復の実演をして頂き、文字だけでは理解の難しい修復技術を披露して頂きます。受講料は無料となっております。多数のご来場をお待ちしております。詳細は下記のとおりですので、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

1. 日時 平成30年3月3日(土)
13時00分～16時00分
2. 場所 富山大学芸術文化学部(高岡キャンパス) B-212教室
(〒933-8588 富山県高岡市二上町180)
3. 主催 富山大学芸術文化学部
4. 内容 別添のチラシをご参照ください

以上

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学芸術文化学部総務課
総務・研究協力チーム(森田)
TEL:0766-25-9139

文化財修復に関する講演

今回は漆芸の文化財修復の第一人者、松本達弥氏を講師に迎え、講演会と実演を交えた二部構成で開催いたします。松本氏は国内外の名品を数多く修復されている。同時に、作家として彫漆技法を専門とし作品をつくり続けて来られました。

県内三行事を含む、全国的三十三の「山・鉾・屋台行事」が世界遺産に登録されました。民族文化財を含めた文化財の修復に注目が集まり、その在り方や活用方法が話題となっています。今回は、これから国の内外を問わず必要性が増していく文化財修復の概念、現状などを修復事例を交えながら、お話しいただきます。また、実演を通して文字だけでは理解の難しい修復技術を披露していただきます。

漆芸分野の関係者だけではなく、文化財の保存修復、祭りなどの文化財活用にご興味のある方を含め、広くご参加頂ければとおもいます。この地域の今後の文化財のあり方を考える上で有意義な講演会になる事を期待し、ご案内申し上げます。

日時 :平成30年3月3日(土) 13:00~16:00

場所 :富山大学 芸術文化学部(高岡キャンパス)B-212教室 富山県高岡市二上町180番

講師 :松本 達弥 氏

講演 :「文化財修復の概念と修復事例」 13:00~14:30

実演 :「麦漆接着と圧着法」 14:45~16:00

受講人数 :100名程度

受講料 :無料

対象者 :一般、学生

主催 :富山大学 芸術文化学部

お問い合わせ :富山大学 芸術文化学部 TEL0766-25-9139 担当:森田

松本 達弥 氏 略歴

- 1961年 香川県善通寺市に生まれる
 - 1985年 香川県漆芸研究所、研究生、研究員修了
 - 1986年 人間国宝、音丸耕堂氏、音丸淳氏に師事
 - 1991年 「第31回伝統工芸新作展」三越賞、宮内庁買上
 - 1992年 「第32回伝統工芸新作展」宮内庁買上
 - 1994年 「現代の彫漆展」(東京国立近代美術館 工芸館)
 - 1997年 「松本達弥 彫漆展」(日本橋三越本店)
 - 2000年 「日蘭交流400周年記念日本現代漆芸展」(アムステルダム)
文化庁主催 指定文化財(美術工芸品)修理技術者講習会修了
 - 2001年 「音丸耕堂一門展」(日本橋三越本店)
 - 2005年 「第23回朝日現代クラフト展」招待出品
 - 2006年 在外漆工品修復海外専門家派遣事業(東京文化財研究所)に於いて
ドイツ・ケルンに派遣(06年~10年)
 - 2010年 「漆芸装飾に見る三人の表現」(銀座和光並木ホール)
日本工芸会東日本支部50周年記念「21世紀の伝統工芸」
朝日新聞社賞(MOA美術館)
 - 2013年 第62回伊勢神宮式年遷宮 御神宝制作「平文の毛彫り」の奉仕
- 現在 日本工芸会正会員、漆芸文化財修復に従事

